校　訓	図書便り	令和８年 10 月 30 日 第５号 大曲工業高校 図書情報部・図書局
正・忍・創		

10 月

今月の図書便り MENU

●表面　:読書週間紹介

●裏面　:新着図書の紹介・展示の紹介



『　ホッと一息　本と一息』

第８０回読書週間　～10 月 27 日から 11 月 9 日まで～

「灯火親しむべし」

秋は過ごしやすい季節なので、夜には灯りをともして読書をするのに最適だ

◇秋のシーズンは四季の中でも、夜の時間が長くなります。古代中国でも、秋の夜長を有意義に過ごそうと、この言葉が広がったそうです。秋は暑すぎず、寒すぎず、読書をするには丁度いい季節です。秋の夜長、普段は寝る前にスマホを手にしている人も、読書週間期間はスマホの代わりに本に触れてみてはいかがですか？

◇今の季節、大工図書館は天気がいい日には日差しも入り、読書に丁度いい環境となっています。興味のある本を見つけ、読書の秋を楽しんで下さい。

◎新着本◎











☆裏面にも続きます



『ハヤブサ消防団』　池井戸潤

ミステリ作家の三馬太郎が自然豊かな八百万町ハヤブサ地区に移り住んで数年。地元消防団の一員としても忙しい毎日を過ごすうち、とある文学賞にノミネート！最大のライバル候補は、今をときめく美貌の歴史ミステリ作家・北原未南。だが、未南に不可解な疑惑が持ち上がる。一方、八百万町では、ある若い女性が我が子を残して川から水死体で発見されていた。事件の真相を探るうち、太郎は町を揺るがす巨大な疑惑に巻き込まれて……。

『夜想い』　住野よる

一年間不登校だった中学生の始は、春から再び学校に通いだした。目的は、この学校にいるはずの〝ある人〟を捜すためだ。そんな中、始は校内の廊下に倒れている女子生徒と遭遇する。彼女は「星空中毒」という珍しい病気にかかった、高等部の遠山先輩だった。夜空の星を長時間見続けることで発症する、近年発見されたばかりの未知の病だ。始は、遠山先輩の友人・ひまわりに勧誘され、星空中毒を観察する「空想研究会」へ入ることに。研究会の活動をするうちに、始はかつて遠山先輩やひまわりと親しかった、今は亡き少年について知ることに





『ないものあります』　クラフト・エヴィング商會

2025年本屋大賞「超発掘本！」に選出！！よく耳にするけれど一度として見たことのないものたち、あります。たとえば「転ばぬ先の杖」。あるいは「堪忍袋の緒」。こういうものは、どこに行ったら手に入れられるのでしょうか？

堪忍袋の緒／舌鼓／左うちわ／相槌／口車／先輩風／地獄耳／一本槍／自分を上げる棚

・・・などなど

今月の展示より　～東北が舞台の本～

秋田「なれのはて」



報道局からイベント事業部に異動したテレビ局員・守谷京斗(もりや・きょうと)は同僚に一枚の絵画の展覧会企画を相談される。画家の正体を探り秋田の未解決事件に行き着くが、それはある一族の秘密に繋がっていた。法の権威、報道の使命、凄惨な戦争、家族のかたち――百年の歳月を巡り明かされる真実とは。

福島「フラダン」



震災から５年後の福島を舞台に描くとびきりの笑顔と涙の青春ストーリー。女子率１００パーセントのフラダンス愛好会に集められた４人の男子高校生。その目的は男女混合によるフラガールズ甲子園出場だった！　（２０１６年発売）

岩手「雲を紡ぐ」



「分かり合えない母と娘」壊れかけた家族は、もう一度、一つになれるか?

羊毛を手仕事で染め、紡ぎ、織りあげられた「時を越える布・ホームスパン」をめぐる親子三代の「心の糸」の物語。

宮城「ゴールデンスランバー」



首相暗殺の濡れ衣をきせられ、巨大な陰謀に包囲された青年・青柳雅春。暴力も辞さぬ追手集団からの、孤独な必死の逃走。行く手に見え隠れする謎の人物達。運命の鍵を握る古い記憶の断片とビートルズのメロディ。スリル炸裂超弩級エンタテイメント巨編。

青森「津軽」



山形「砂の女」

